

取組名称：QOL向上を目指す専門職間連携教育用モジュール中心型カリキュラムの共同開発と実践
構成大学：新潟医療福祉大学(代表校)、埼玉県立大学、札幌医科大学、首都大学東京、日本社会事業大学

保健・医療・福祉分野の優先的命題『QOL向上』を図るために、専門職間連携教育(IPE:Interprofessional Education)カリキュラムおよび解決課題を有するモジュール(事例)を連携大学で共同開発とIPEの指導者であるファシリテーターの養成を行い、遠隔地の大学間で連携可能なIPE運用システムを利用するチーム演習を可能とする基盤形成を行い、三分野の専門職を目指す学生をIPEの実践を通じて、他分野の学生と連携して課題解決を図り、支援策を提案できるように育成する取組である。将来的には、学会認証制度に基づく現場で協働可能な専門家の育成を目指す。

●大学間連携の背景と目的

- 幼児虐待や介護疲れなどの21世紀の社会的課題
- 保健・医療・福祉現場での専門職間協働の必要性
- 専門職間協働の実践的力量を持つ人材養成

保健・医療・福祉分野の
専門職養成大学連携

- 専門職間連携教育(IPE)の実施基盤形成と標準化
- 専門職間連携教育(IPE)の将来像の明確化

●連携取組の内容

1 IPE実施要件に関する開発・構築・改訂

- IPEカリキュラム開発・改訂
- IPE標準モジュール(教材)開発・改訂
- IPEファシリテーター研修開発・改訂
- 学習・研修効果評価法開発
- 大学間と保健・医療・福祉機関の連携
- 学習、研修展開基盤のICT構築

2 連携大学におけるIPE本格実施

- チーム演習中心のIPE実施
- IPEカリキュラム実施
 - IPE標準モジュール(教材)利用
 - IPEファシリテーター研修実施
 - 学習・研修効果評価法改訂
 - 学習、研修展開基盤のICT利用

3 IPEコンソ大学へIPEカリキュラム公開

- IPE関連コンソーシアム大学に向けた公開
- IPEカリキュラム公開
 - IPE標準モジュール(教材)公開
 - IPEファシリテーター研修公開
 - 学習・研修効果評価法標準化
 - 学習、研修展開基盤のICT供用

4 IPE関連学会への提言、認証制度等検討

- 日本保健医療福祉連携教育学会へ提言
- IPE標準コア・カリキュラムの普及
 - IPEファシリテーター認証制度
 - IPE演習修了者の認証制度など

●期待される効果

- 専門職間連携の課題解決の実践的力量を持つ人材育成
- ICTによる広域的なIPE連携、教育、研修の確立と普及
- IPEカリキュラム、教材、ファシリテーター研修を社会に還元
- サービス利用者のQOL向上による社会貢献など